

## 骨材試験結果一覧表

/ <del>/:</del> #	会 社 名		生 名	株式会社 西村砂利工業				
所在地			生 地	福井県吉田郡永平寺町光明寺41-4				
申依	申依 試料採取日			令和7年4月15日				
請頼 事者 項	試彩	∤採取	場所	砂利プラント(骨材堆積場)				
項	試 #	斗 採 耳	取 者	宮浦 勝				
試	試 料 搬 入 日			令和7年4月15日				
試	馬	皊	目	令和7年4月16日 ~ 令和7年5月15日				

試	験 体 種 類	産地
粗骨材	砕砂(7号砕石) 5-2.5mm	福井県勝山市坂東島山系

試	験 項	目	試 験 結 果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗 粒 率	5.15
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.5
単位容積質量試験	TIC A 1104	単 位 容 積 質 量 kg/l	1.48
平 位 谷 惧 貝 里 武 阙	JIS A 1104	実 積 率 %	57.1
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	_
		表 乾 密 度 g/cm³	2.62
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	絶 乾 密 度 g/cm³	2.59
		吸 水 率 %	1.14
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	18.7
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	3.6
粘 土 塊 量 試 験	JIS A 1137	粘 土 塊 量 %	0.00
骨材中の塩化物量試験	JIS A 5308	塩化物含有率 %	_
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	_
技 術 管 理	者	棋田 直	也
試 験 担 当	者	江指 尚	i美

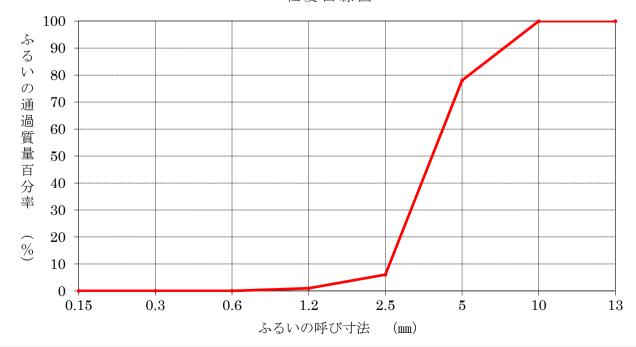
〈試験実施場所〉 ベルテクス株式会社 試験分析センター 福井県鯖江市二丁掛町7号6番地

### 骨材のふるい分け試験(粗骨材)

試験担当者: 江指 尚美

絬	験	日	令和	7 左	<b>=</b> 4	月	21	日		
	種	類	砕砂(	7号砕石	) 5-2.5m	ım	最	大寸法	1	_
試	武 産 地				-	福井県勝	7山岩	<b></b>	山系	
料 [	採		令和	<b>7</b> 년	≐ 4	月	15			
	採取	以場所			砂	利プラン	/ト	(骨材堆	積場)	
ふる	るい分に		手動	•		分け前の外				11.7
ふる	いの阿	び寸法	連続する各 の間にと 試 料 の	ふる V どまる 質量	連続す の間に 試料の	る各ふる とどま 質量分	るい :: る :	各 ふ とどま	る い に る質量分率	各ふるいを通過する質量分率
	(mm	)	(g)			(%)			(%)	(%)
	(13)	)	0.0	0.0		0		0		100
	10		0.0			0		0		100
	5		264.8			22		22		78
	2.5		876.	1		72			94	6
	1.2		60.2	1		5			99	1
	0.6		6.5			1			100	0
	0.3		1.6			0			100	0
0.15		1.0			0			100	0	
受け皿 1.3			0		100		0			
	合	計	1211.	5		100			_	—
試験前	前後の貿	重量差 (%)	0.02		判	土粒率			5.	15

#### 粒度曲線図



# 骨材の微粒分量試験(粗骨材)

試験担当者 : \_\_\_\_\_ 江指 尚美

		.Iu				
		光	且骨材			
試	験 日		令和 7	年	4 月 1	8 目
	種類			砕砂(7号砕	石)5-2.5mm	
試 料	産 地				市坂東島山系	
1 1	採取日		令和 7	年	4 月 1	5 日
	採取場所				(骨材堆積場	
計 馬	険 回 数		1			2
洗う前の試料の軟		$m_1$	1230.3 1217.8			
洗った後の試料の	)乾燥質量 (g)	$m_2$	1223.8 1211.7			
	骨材の 微粒分量 $=\frac{m_1-m_2}{m_1} \times 100$ (%)			0.5		
2回の試験の平均	値 (%)	Ā	0.5			
	(規格値:0.2%以				.0	

## 骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者		江指	冶羊
	•	1111	四大

	武 縣	令和	7	年	5	月	15	目			
		種	類			砕砂	>(7号	砕石)	5-2	. 5шт	
	試 料	産	地		福井県勝山市坂東島山系						
	PT 1-1	採	取 日		令和	7	年	4	月	15	目
		採耳	取場所		砂	利プ	ラント	、 (作	材堆	積場	)
	試験	回 数				1				2	
	容器の質量		(kg)	(1)	0.	908				0.90	8
	容器の容積		(1)	V	2.	001				2.00	1
単	(容器+試料)の質	<u>‡</u>	(kg)	(2)	3.865				3.875		
位 容	試料の質量 = (2)		(kg)	$\mathbf{m}_1$	2.	957				2.96	7
単位容積質量	単位容積質量 =	$\frac{m_1}{V}$	(kg/l)	Т	1	.48				1.48	}
	2回の試験の平均値	直	(kg/l)	$\overline{\mathrm{T}}$				1.48			
	平均値からの差	(規格値	:0.01kg/	l以下)			(	0.00			
宇	試料の絶乾密度		(g/cm <sup>3</sup> )	$ m d_D$			-	2.59	_		
実 積 率	実積率 = —	$\frac{\mathrm{T}}{\mathrm{d}_{\mathrm{D}}} \times 100$	(%)	G			ļ	57.1			

# 粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者: 江指	1 尚美
-----------	------

	試影	<b></b> 日		令和 7 年	4 月 23 日	
		種	į	砕砂(7号	砕石) 5-2.5mm	
	試料	産地	į	福井県勝口	山市坂東島山系	
	<b>叶</b>	採取日		令和 7 年	4 月 15 日	
		採取場所		砂利プラン	〉(骨材堆積場)	
	試験	回 数		1	2	
	表乾状態の試料の	質量 (g)	$m_1$	1152.6	1165.9	
	試料とかごの水中の	)見掛けの質量 (g)	$m_2$	918.3	927.1	
	金網かごの水中質	量 (g)	$m_3$	204.7	204.7	
表	試験温度における	水の窓度 (a/am³)	$ ho_{ m w}$	試験水の温度	20 °C	
表乾密度	円線代画技(これ() つ	水の名及 (g/cll)	0.9982			
度	表乾密度 = $\frac{m}{m_1-}$	$\frac{1 \times \rho_{\rm w}}{(m_2 - m_3)}$ (g/cm <sup>3</sup> )	$D_{\rm s}$	2.62	2.62	
	2回の試験の平均(	直 (g/cm³)	$\overline{\mathrm{D}}_{\mathrm{s}}$		2.62	
	平均値からの差	(規格値:0.01g/c	m³以下)		0.00	
	絶乾状態の試料の	質量 (g)	$m_4$	1139.7	1152.8	
絶乾密度	絶乾密度 $= \frac{m}{m_1 -}$	$\frac{4 \times \rho_{\mathrm{w}}}{(\mathrm{m}_2 - \mathrm{m}_3)}$ (g/cm <sup>3</sup> )	$D_d$	2.59	2.59	
度	2回の試験の平均位	直 (g/cm³)	$\overline{\mathrm{D}_{\mathrm{d}}}$		2.59	
	平均値からの差				0.00	
吸	吸水率= $\frac{m_1 - m}{m_4}$	144 × 100 (%)	Q	1.13	1.14	
水率	2回の試験の平均位	直 (%)	$ar{ m Q}$	1.14		
	平均値からの差	(規格値:0.03%	6以下)		0.01	

	水の温度と密度										
温度 (℃)	密度 (g/cm³)	温度 (℃)	密度 (g/cm³)	温度 (℃)	密度 (g/cm³)						
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975						
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973						
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970						
18	0.9986	22	0.9978	—	—						

## ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者 : \_\_\_\_\_ 江指 尚美

	 試	 験 日		 令和	7 年	5 月	13 日		
	武	* '	Ner:	T7 /T4	•				
		種	類	砕砂(7号砕石) 5-2.5mm					
試	料	産	地	福井県勝山市坂東島山系					
μч	He A 11-1		採取日		7 年	4 月	15 日		
			場所			ト(骨材堆積	場)		
ふるいの	呼び寸法	ふるい	分け試験				試験前の		
	とどまる	各群にと。	どまるもの	粒度区分	球の数	回転数	各群の質量		
ふるい	ふるい	質量	質量百分率				(g)		
(mm)	(mm)	(g)	(%)	A∼G	6~12	500または1000	$\mathrm{m}_1$		
2.5	_	70.6	6						
5	2.5	876.1	72				5000		
10	5	264.8	22						
15	10	0.0	0						
20	15	—	_						
25	20	—	—						
40	25	—	—						
50	40	—	—						
60	50	—	—						
80	60	—	—						
合	計	1211.5	100	D	6	500	5000		
試験後1.7mmふるいに 残った試料の質量 (g) m <sub>2</sub>			4064						
すりへり打	すりへり損失質量 $m_1-m_2$ (g)					936			
すりへり減量 = $\frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)						18.7			

#### 硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験(粗骨材)

試験担当者 : \_\_\_\_\_ 江指 尚美

			/hH				
			粗	上 骨 材			
	試	験 日		令和	7 年	5 月 9	日
			類		砕砂(7号	砕石) 5-2.5mm	
試	Med .	産	地		福井県勝口	山市坂東島山系	
武	料	**	<b></b> 日	令和	7 年	4 月 15	• •
			場所			ト(骨材堆積場)	
ふるいの	呼び寸法	ふるいろ		試験前の	試験後の	各群の損失 質量分率	質量分率
通る	とどまる ふるい	各群にとる	どまるもの	各群の質量	各群の質量	$\left(1 - \frac{m_2}{m_1}\right) \times 100$	① × P <sub>1</sub>
\\ \alpha_1 \alpha \\ \cdot \cdot \\ \cdot \cdot \\ \cdot	⊗, Ø, Ø, .	質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	100
(mm)	(mm)	(g)	(%)	$\mathbf{m}_1$	$\mathrm{m}_2$	$\mathrm{P}_1$	(%)
10	5	264.8	100	306	295	3.6	3.6
15	10	0.0	0	—	—	—	—
20	15	—	——	—	—	——	—
25	20	—	<u>—</u>	—	—	——	—
40	25	—	<u>—</u>	—	<u>—</u>	<u>—</u>	—
60	40	—	<u>—</u>	—	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>
合	計	264.8	100	_	_	—	3.6

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

## 骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者: 工指 尚美

粗骨材									
試 験	目		令和	7	年	4	月	25	日
試 料	種	類	砕砂(7号砕石) 5-2.5mm						
	産地		福井県勝山市坂東島山系						
	採取	日	令和	7	年	4	月	15	日
	採取場所		砂利プラント(骨材堆積場)						
試験前の試料の乾燥質量 (g) m <sub>D</sub>			1133						
試験後の試料の乾燥質量 (g)		$ m m_{D2}$	1133						
粘土塊量= $\frac{m_{\rm D1}-m_{\rm D2}}{m_{\rm D1}}  imes 100$ (%)		С	0.00						

注1) 試験回数は、附属書Bによる。